

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
札幌市かしわ学園		令和7年 2月 17日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	0	・安全に活動できる空間が確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	0	・こどもの人数に対して職員が十分確保できており、手厚い支援ができた。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	0	・絵カードや写真など視覚的な方法で情報をわかりやすく伝えている。 ・日々の活動や行事の時に、こどもに合わせて環境を工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	・職員が日々センター内やこどもの使用する遊具、玩具の整備・点検を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	0	・複数の部屋があり、状況に応じて使用できるため、こどもが安心して活動できる環境がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	19	第三者による外部評価は、義務ではないため実施していない。	内部監査や保護者による事業所評価を行い、全体で共有し、改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	19	0	園共通のアセスメントシートを元に姿を整理することでこどもの様子を捉えやすい。また、ニーズを書面で提出してもらうことに加え、聞き取りも行っていることで、書面では聞き取れない内容を知ることができ、よりニーズの把握に繋がり、計画作成に生かすことができている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	0	モニタリング・支援計画会議には保育士や児童発達支援管理責任者のみならず、看護師や栄養士などの専門職や園長が参加しており、検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	1	保育士以外の多職種（ST・栄養士・看護師）にも計画書を共有している。	児童発達支援計画に沿った支援ができるように職員一人一人が計画の把握に努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	児童発達支援ガイドラインを基に作成しており、一人一人に合わせた必要な支援を具体的に設定している。	

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	0	慣れ親しんでもらうために同じ活動を繰り返し設定することはあるが、こどもがいろいろなことを経験し、関心の幅を広げていけるように考慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	0	こども一人一人の支援内容によっては、個別で支援していきたい内容と人との関わりについての集団活動の内容を組み合わせ、支援計画を作成し、両方できるよう支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	1	その日携わった職員間では、振り返りをし気づいた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0	定期的に、モニタリングを行い担任間で児童発達支援計画書を振り返り、支援の検証や改善につなげている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	1	会議の内容に応じて職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	18	1		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	4		児童発達支援センター職員としての自覚をもち機会を捉えて会議等へ参加するよう努める。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18	1	地域交流としてひまわり整肢園、ちあふるとよひらとの交流を行った。	地域との交流は、保護者の希望に合わせて回数を増やします。また、交流の様子を保護者の方に知っていただくために写真の掲示やかしわだよりで紹介するなど周知方法を工夫していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	0		

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	4	かしわスクールやクラス懇談、親子レクなどの行事で、保護者同士が交流できる機会を設けた。運動会では、きょうだい競技を行い、短い時間だが交流につながったように思われる。	保護者交流会では、内容やグループ分け等保護者の方が参加しやすくなるような方法を工夫します。きょうだい同士の交流については、保護者のニーズを把握し、よりよい方法を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	3	発達支援や行事の際、ボランティアを依頼している。今年度は実習生にも学生ボランティアとして参加していただいた。	合同庁舎内に位置しているため、安全管理上地域住民の招待は、難しいが、ボランティアを受け入れ等工夫し地域に開かれた運営を図る。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	1	安全計画を作成し、安全管理マニュアルや防災マニュアルを見直した。マニュアルに基づき、送迎、睡眠中、プール活動・水遊び中、食事など状況に応じたリスクを踏まえながら全職員で支援を行っている。安全管理に必要な研修や避難訓練等なども取り入れている。	安全計画の則り、安心、安全な学園運営を実施するように適宜研修を実施する。保護者へも安全管理の取組を説明する機会を設ける。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	1	要綱や指針は策定しているが、今年度身体拘束を行うことはなかったため、保護者に書面で説明する機会はなかった。	